

年末年始無災害運動

実施期間：令和7年11月16日～令和8年1月31日

川崎北労働基準監督署

令和7年度 年末年始無災害運動標語 「年末」感謝の総点検 「年始も笑顔で」無事故の発進

川崎北労働基準監督署では、中央労働災害防止協会が主唱し全国的に実施する「年末年始無災害運動」を令和7年11月16日から令和8年1月31日に拡大して展開していきます。

皆様方の事業場におかれましても、年末年始の無災害を達成しましょう。

川崎北労働基準監督署の管内における労働災害（休業4日以上之死傷者数）は、令和7年10月末現在の速報値で470人（前年同月比12件増）となっています。

特に、死亡災害は4件（前年同月比3件増）発生しており、過去10年でワーストの数字となっています。

年末年始は業務が多忙になる中で清掃や機械設備のメンテナンス等の通常と異なる作業（非定常作業）を行う事業場もあり、労働災害が増加することが懸念されますので、**裏面の点検項目**を活用して、労働災害防止のための取り組みを確認してください。

令和7年死亡災害の概要

発生月	業種	年齢	発生状況
1月	医療保険業	50代	洗浄機で使用した器具を洗浄していたところ、槽に設けられたリフターの枠と装置を構成する枠との間に挟まれて死亡した。
4月	小売業	60代	オートバイで配達作業中、T字路を右折しようとしたところ、直進してきたトラックと衝突したものの。
6月	農業	50代	枯木の伐採作業において、吊るし切り作業を行っていたが、伐採した部分がワークポディショニング器具を取り付けていた幹の部分と接触し、衝撃で折れて幹の部分ともに墜落した。
9月	農業	40代	高さ約4メートルの擁壁上で枯木の伐採作業を行っていた。はしごを立てかけて安全帯を着用し吊るし切りを行っていたが、伐採時の振動・反動等ではしごを立てかけていた枯木も倒れて、そのまま倒れ、さらに安全帯が抜け落ち、擁壁下に墜落した。

労働災害を防止するために以下について確認し、取組みが不十分な項目は改善を図ってください。

安全衛生管理体制の整備

- ☐ 経営トップが安全衛生基本方針を表明するなど安全衛生管理に積極的に関わっていますか
- ☐ 安全衛生管理に携わる者（安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者など）を選任して、その者に適切に職務を遂行するための必要な権限を与えていますか
- ☐ 上記の者の職務は充分に行われていますか

リスクアセスメントの実施

- ☐ リスクアセスメントは実施方法を定めた上で計画的に実施していますか
- ☐ リスクアセスメントの実施は担当者だけでなく、事業場全体で実施する体制が整備されていますか
- ☐ 安全衛生委員会等でリスクアセスメントの実施状況を確認していますか

安全衛生教育の実施

- ☐ 労働者の雇入れ時、作業内容変更時に安全衛生教育を実施していますか
- ☐ 上記以外にも労働者の職務内容及び経験を考慮した安全衛生教育を実施していますか
- ☐ 安全衛生教育は年間計画等で実施時期及び教育内容を定めて計画的に実施していますか

安全衛生活動の活性化

- ☐ 適切な作業方法や労働災害防止のための遵守事項を定めた作業手順書を作成して労働者に周知していますか（清掃や機械メンテナンス等の非定常作業における適切な作業方法の遵守に留意してください。）
- ☐ 4 S 活動や危険の「見える化」に取り組んでいますか
- ☐ 高年齢労働者に配慮した職場環境や作業方法の改善に取り組んでいますか
- ☐ ヒヤリハット報告や職場ミーティング等を活用して労働者から職場内の危険箇所等の情報を入手していますか
- ☐ 職場の巡視を行って、不安全状態や不安全行動の有無などがないか確認していますか

死亡災害急増を受けた神奈川労働局長緊急メッセージ（第2弾）

神奈川県内では、令和7年10月末時点で死亡労働災害が34件発生し、過去5年間で最も多かった令和3年の33件を上回るペースで発生している危機的な状況となっております。このため、神奈川労働局長から管内事業場の皆さまに対し、災害防止の取り組みを呼びかける動画メッセージを作成いたしました。ぜひご覧いただき、職場で亡くなる方をこれ以上増やさないために、取り組みへのご協力をお願いします。

